

平成30年4月26日

平成30年度 第1回銚子市下水道事業運営協議会 概要

- | | | | | |
|---|---|---|------------------------------|--|
| 1 | 日 | 時 | 平成30年4月26日（木）午後1時30分～午後2時30分 | |
| 2 | 場 | 所 | 市役所3階庁議室 | |
| 3 | 出 | 席 | 者 | 委 員 7名（宮崎会長、小倉委員、安西委員、石橋委員、
徳元委員、和田委員、松尾委員）
事務局 7名 |
| 4 | 概 | 要 | 下記のとおり | |

記

議題（1）銚子市下水道事業の現状について

- ・目的・計画の概要
銚子市下水道事業の目的、計画の概要、上位計画、その他の計画について
- ・下水道施設について
芦崎終末処理場の稼働状況や管路施設の更新について
- ・水洗化率等について
銚子市の水洗化率の推移や向上のための取組について
- ・地方公営企業法の適用について
地方公営企業法の適用範囲と移行スケジュールについて
- ・経営戦略の策定について
経営戦略の策定期間について
- ・決算状況について
25年度～29年度の決算状況について
- ・今後の見通しについて
使用料収入等の減少見込みと、改築更新・維持管理費用の増加見込みについて

【質疑応答】

委 員：処理場の稼働状況について、現在の処理能力 24,000 m³/日を今後 19,400 m³/日に改めるとのことだが、この数値の根拠は。

事務局：汚水処理適正構想の計画面積や計画人口を見直した際、最大で流れると考えられる水量。今後はこの数値に基づき施設の維持管理を行っていく。

委員：提案だが、理解を深めるため芦崎終末処理場や唐子ポンプ場を委員で見学してはどうだろう。

事務局：見学できる方向で調整する。

委員：芦崎終末処理場の工事はスケジュールどおり進んでいるのか。

事務局：消毒設備・用水設備・電気設備の工事は本来26、27年の2年で行う予定だったが、入札不調等で1年延びてしまい、その後の工事が全て1年ずれている状況。

委員：水洗化率が低いというのは、下水道を接続することができるのに接続していない方が多いということか。

事務局：そのとおり。全ての方が接続すれば水洗化率は100%になる。しかし、高齢者の単身世帯や経済的事情で接続できない方が多く、なかなか上がらない。

委員：春日町の方で、早く下水道に接続したいのに出来ないという話を聞く。整備がそこまで進んでいないということか。

事務局：そのとおり。整備は現在休止しており、その整備が進まなければ下水道には接続できない。

委員：住宅団地下水道費の歳出が若干増えているが、これは処理にかかる費用が増えているということか。

事務局：これはポンプ交換等の修繕費用の増加分。運転経費等の維持管理にかかる経費はさほど増減しないが、修繕工事費は設備の故障等により変動する。

委員：歳出決算で、業務委託をすれば一般管理費が減少すると思うが減少していないのは何故か。

事務局：27年度の一般管理費の事務費が25、26年度と比較し増加しているが、これは27年度に国の交付金を活用して下水道に接続した方に補助金を出すという事業を行っていたため、その分増加している。

また28、29年度は公営企業会計への移行のための固定資産調査等があり、業務委託料は前年と比較し増加している。

以上